



静岡ウェルネスプロジェクトの施策展開



フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト(R2~R6)

社会的課題

・超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸
・経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出

静岡県の
ポテンシャル

全国トップクラスの健康寿命
・健康長寿 男女とも全国2位
(H22、25、28の平均値)
男性72.15歳、女性75.43歳



**多彩で魅力ある
静岡県産農林畜水産品**
・439品目の農林畜水産品を産出
・お茶、みかん、わさび、かつお、
まぐろ、ガーベラ等が日本一
・レトルト食品、缶詰が日本一



**豊富な水や温暖な気候
首都圏に近い交通アクセス**
・日本のほぼ中央に位置
・200km圏内に、約6,000万人居住
・陸・海・空のインフラが充実



**地域を支える大学や
研究所等知の拠点の集積**
・静岡大学、県立大学、東海大学
・農研機構(果樹・茶)
・国立遺伝学研究所
・AOI、MaOI、ChaOI



多彩な企業群の集積
・食品・飲料等の合計
(付加価値額16年連続 第1位)
製造品出荷額等 第2位
化粧品生産金額 第3位



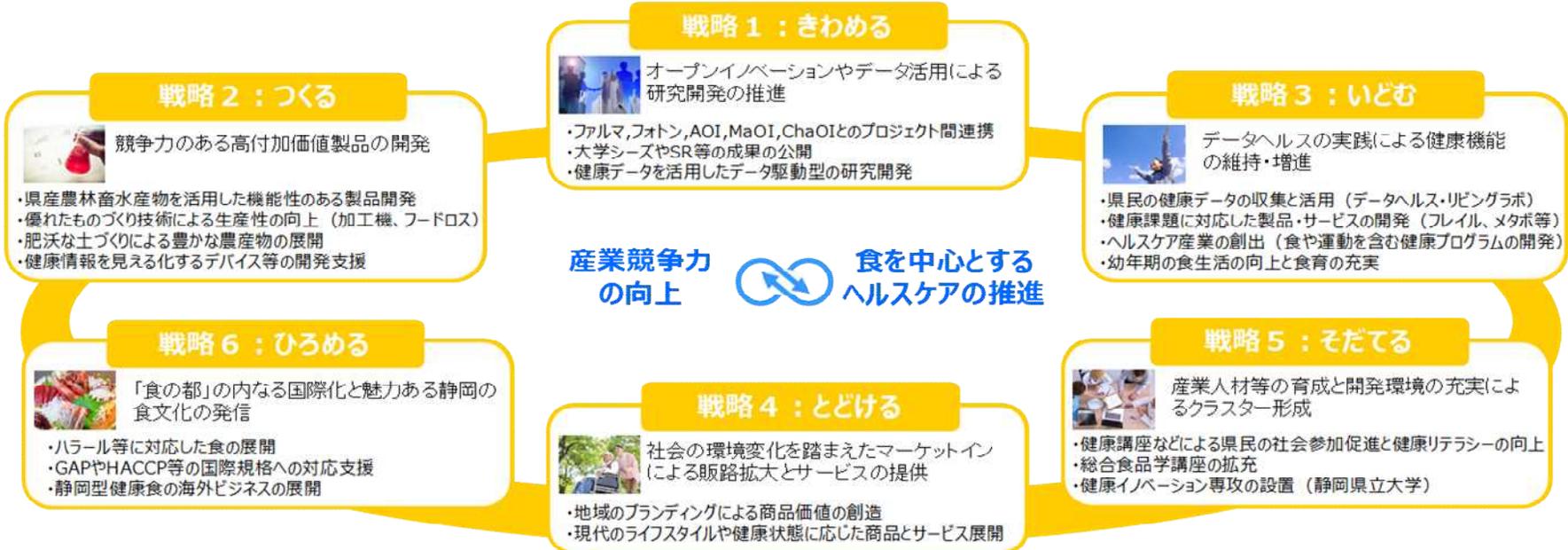
静岡県の恵まれた強みを活用

プロジェクト
の取組

【目標】
・食を中心とする健康増進社会の実現
・異分野の融合によるイノベーションの創出

【指標】
・静岡県の健康寿命 日本一
・食料品等の付加価値労働生産性 日本一

具体的な展開



取組を
支える体制

化粧品開発プラットフォーム
・化粧品素材開発及び製品化を支援
・農林水産物の付加価値向上

機能性食品開発プラットフォーム
・相談から届出、販路まで一貫支援
・FSCと県立大学にて整備
・素材開拓を強化

フォーラム
・企業等が集まる出会いとイノベーション創造の場
官 産 FSC 学 金

リビングラボ
・県民参加による実証フィールド
・サイエンスに基づくデータを収集
・新たなサービス創造の場

プロジェクトを取り巻く社会環境の変化

Politics



政治的要因

・「フードテック推進ビジョン」による取組の推進

・「健康・医療戦略」によるヘルスケア産業の推進

・健康経営優良法人認定の強化

・「スタートアップ5か年戦略」によるSU支援の強化

Economics



経済的要因

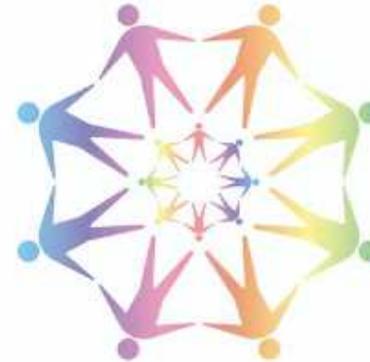
・国際情勢の変化等による原材料価格の高騰

・輸入物価、消費者物価等の物価上昇

・少子高齢化の進行による社会保障費の増大

・フードテック・ウェルネス産業の市場規模拡大

Society



社会的要因

・生産年齢人口の減少、超高齢化社会の進行

・SDGs(「すべての人に健康と福祉を」等)の関心の高まり

・日本の幸福度(ウェルビーイング)の低迷(世界51位)

・エシカル・健康意識の向上

Technology



技術的要因

・サーキュラーエコノミーに資する食のアップサイクル技術の開発

・食料不足等を見据えたプラントベースドフード等の新たな食の開発

・医療・健康データ等を活用した食品や健康サービスのパーソナライズ化

・アプリ、Fitbit等による自己の健康状態の見える化

社会環境の変化等を踏まえた方向性

次期施策の方向性

食品産業

- ・ フードテック等を活用し、**高付加価値で食品ロス等の社会課題解決にも寄与する新しい食品開発を強化**
- ・ 制度改正が予定される機能性表示食品の開発等、支援が必要な施策は継続

県民の健康に資する産業

- ・ **県民の身体・精神・社会の面における健康を目指すウェルネスの視点を導入**
- ・ 健康づくりの取組と連携し、エビデンスに基づく新たなサービス等を創出

スタートアップ等の技術力を活用して、**食品・ウェルネス産業の振興と健康寿命の延伸施策を融合させた「静岡ウェルネスプロジェクト」へと進化し、県民幸福度日本一の実現を目指す。**

静岡ウェルネスプロジェクトの展開イメージ

これまで取り組んできたFHCaOIプロジェクトと、健康寿命の延伸施策を再構築し、「静岡ウェルネスプロジェクト」として県民幸福度日本一の実現を目指す。

FHCaOIプロジェクト(経済産業部)

食品産業 競争力のある高付加製品の開発

- 機能性表示食品の届出支援(件数323件(H27~)、全国4位)
- フードテックを活かした食品開発、実証(協業支援4件) ほか



機能性表示食品



CNF活用防災食



総合食品学講座

ヘルスケア産業

データヘルスの実践による県民の健康機能の維持・増進

- 県民の健康データの活用(県立大学のリビングラボ活用4件)
- ヘルスケアビジネスの事業化支援(15件)



実証フィールド「みなくる」



製品化に向けた消費者モニター 助成金による製品化



助成金による製品化

健康づくり施策(健康福祉部)

- 科学的知見に基づく施策の推進(KDBデータ分析・コホート調査)
- 健康経営の推進(健康づくり宣言事業の普及 ほか)
- 研究成果の施策反映・実証の取組(ヘルスオープンイノベーション静岡)



コホート調査



健康づくり優良企業表彰



健幸惣菜商品開発

食品・ウェルネス産業の振興(経済産業部)

○ 未来型食品産業の創出

- ・ フードテックを活用した社会課題解決・高付加価値食品の開発(未利用食材の活用、防災食 ほか)
- ・ 機能性表示食品の開発・届出支援



多彩な食材



優れた加工技術



スタートアップ

○ ウェルネス・フーズEXPOの開催

- ・ ウェルネスサービスやフードテック等県内外の先端技術を集めた展示会



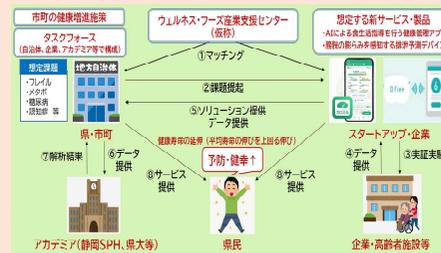
植物工場



陸上養殖

○ 県民向けウェルネスサービスの創出

- ・ スタートアップ等の技術を活かし、市町の健康課題解決を支援



市町とスタートアップ等のマッチング、実証等

- ・ タスクフォースによる静岡SPHの研究成果の社会実装

○ 静岡ウェルネスフォーラム(仮称)の立上げ

- ・ 企業、市町、大学、医療機関等で構成し、県民のウェルネス向上を目指す組織



静岡ウェルネスフォーラム

健康づくり施策(健康福祉部)

- 科学的知見に基づく施策の推進
- 健康経営の推進
- 研究成果の施策反映・実証の取組(ヘルスオープンイノベーション静岡)



健診受診率向上のためのトライアル事業

静岡ウェルネスプロジェクトの体系

目指す姿

幸福度日本一の実現

大目標

食品・ウェルネス産業の振興

県民の健康寿命の延伸

事業目標

新たな製品・サービスの創出

生活習慣病予防・重症化予防

異業種交流や情報共有等でウェルネス施策を推進

静岡ウェルネスフォーラム

FHCaOIフォーラム会員(約1,800社)、健康づくりサポーター(163企業等)、市町、大学、医療機関等で構成

県民のウェルネス向上を目指すフォーラムを立上げ

経済産業部

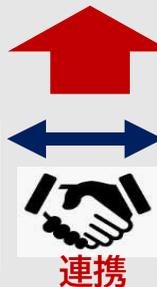
産学官金連携のもと、スタートアップの技術等を活用し、静岡発のウェルネス産業を創出

○ 未来型食品の開発 ○ 県民向けウェルネスサービスの創出 ほか

健康福祉部

県民の健康状態と生活習慣の改善
個人の健康づくりを支える環境づくり

○ 健康施策の推進 ○ 研究成果の健康施策反映 ほか



連携

プロジェクトの推進体制

<中核支援機関> ウェルネス・フーズ産業支援センター(仮称)

○ 県内市町との連携

○ 県試験研究機関や静岡県立大学、静岡社会健康医学大学院大学等との連携

静岡県のポテンシャル

○ 県民の健康寿命の長さ
○ 豊富な水と温暖な気候
○ 多彩な企業群の集積

○ 多彩な県産農林畜水産物
○ 缶詰等の優れた加工技術
○ 多種多様なプロスポーツチーム

○ 日本有数の温泉源泉数
○ 日本最多を誇る宿泊施設数

静岡ウェルネスプロジェクトの概要(施策の柱)

- <計画期間> 県総合計画等と目標年次をそろえるため、令和10年度までの4年間とする。
- <支援対象> ・食に関する社会課題解決と高付加価値化に資する未来型食品の創出
 ・健康寿命の延伸に資するウェルネスサービス・製品の創出、健康づくりの推進
- <施策の柱> 産業振興: 研究開発から販路開拓、人材育成までの各プロセスに応じた支援
 健康づくり: 静岡県健康増進計画に基づく健康づくり施策の展開

領域	施策の柱		概要	
			食品分野	ウェルネス分野
産業振興	柱Ⅰ	研究開発	・フードテックシーズ探索・活用 等	・健康・医療データ等の活用・検証 等
	柱Ⅱ	事業化・異業種連携	・食の社会課題解決と高付加価値化に資する未来型食品の開発 ・スタートアップとの連携の推進 等	・県の強み、地域資源等を活用した新たなサービスの創出 ・市町とリユース企業のマッチングの推進
	柱Ⅲ	販路開拓・拡大	・販売先(出口)を持つ企業を核とした出口戦略の強化 等	・実証を含む販路開拓の取組支援 等
	柱Ⅳ	人材育成	・フードテックを始め食の社会課題解決の専門性を持つ人材の育成 等	・パーソナライズ、エビデンス等の専門性を持つ人材の育成 等
健康寿命の延伸	柱Ⅴ	健康づくり	・静岡社会健康医学大学院大学と連携した社会健康医学研究の推進 ・産学官連携の推進による研究成果の社会実装 ・健康経営の推進 等	

令和7年度の重点施策

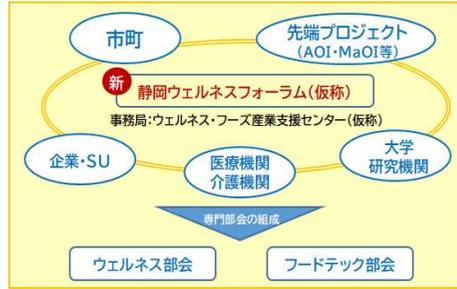
食品・ウェルネス産業の振興

静岡ウェルネスフォーラムの創設

柱Ⅱ

・FHCaOIフォーラムを基盤に、健康経営企業や医療機関等に加え、**新たな産学官金連携プラットフォームを構築**

・フードテックやウェルネス等の**部会を設置し、企業連携や多様な関係者による交流機会を創出**



ウェルネス・フーズEXPOの開催

柱Ⅰ～Ⅲ

・フードテックやウェルネスに関する先端技術等を有する**県内外のスタートアップ等を招聘し、マッチングや情報発信に資する展示商談会を開催**

・スタートアップとの連携等の推進により、**静岡発のフードテック・ウェルネスに関する製品・サービスを創出**



他プロジェクトと連携



植物工場



防災食

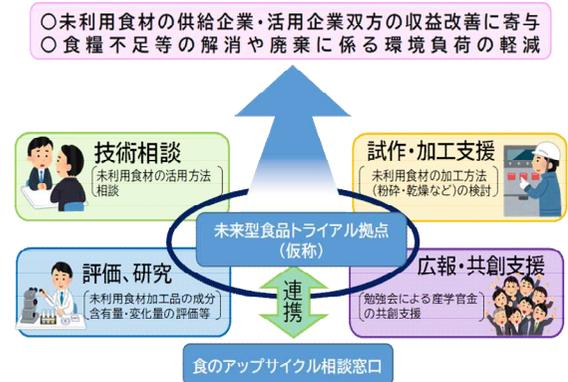
食品産業振興

未来型食品トライアル拠点の整備

柱Ⅰ・Ⅱ

・県工業技術研究所に食の**アップサイクルを推進する拠点を整備**

・未利用食材を活用した**アップサイクル製品の試作品開発、品質評価等を支援**



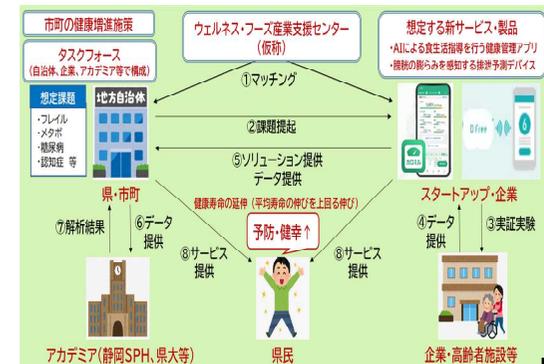
ウェルネス産業振興、健康づくり

柱Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ

市町の健康課題解決に向けた実証支援等

・ピッチ等を通じた健康課題解決を持つ**市町とソリューション企業のマッチング**

・市町をフィールドとした**実証、静岡社会健康医学大学院大学や県立大学等のアカデミアとの連携による実証データの検証**



令和7年度の食品・ウェルネス産業振興に資する助成制度

助成メニュー	対象者	対象事業	補助率	上限額
フードテックシーズ活用可能性調査事業助成	県内に主たる事業所を有する中小企業者・農林漁業者等	食品関連分野で、 <u>大学等研究機関との連携によるフードテックシーズを活用</u> した事業が成立する可能性を検証するための取組	2/3以内	100万円
未来型食品等開発助成	県内に主たる事業所を有する中小企業者・農林漁業者等	食品関連分野で、 <u>食の社会課題解決や高付加価値化に資する未来型食品等の製品化</u> へ向けた試作品の製作または試作品の実証試験	1/2以内	200万円
県産加工食品海外展開支援事業助成	県内に主たる事業所を有する中小企業者	<u>県産加工食品の海外販路開拓・拡大</u> の取組	1/2以内	150万円
ウェルネスビジネス事業化促進助成 (事業化可能性調査)	県内に主たる事業所を有する中小企業者・農林漁業者等	<u>ウェルネスビジネスの事業化に向けた市場調査や効果検証</u> など、事業が成立する可能性を検証するための取組	2/3以内	100万円
ウェルネスビジネス事業化促進助成 (事業化実証)	中小企業者・農林漁業者等	<u>ウェルネスビジネスの事業化に向けた実証</u> を含む研究開発や販路開拓の取組	1/2以内	500万円 (※1) 200万円 (※2)

※1 アカデミア等との連携による実証データの検証等を行う事業

※2 その他事業

【参考】未来型食品とウェルネス産業の定義

未来型食品

定義

高付加価値化と食品ロス、食に関する社会課題解決の両立を目指すため、**フードテック等を活用した食産業の未来を見据えた食品**

$$\text{フードテック} = \text{食} \times \begin{matrix} \text{テック(先端技術)} \\ \text{テクニク(伝統製法)} \end{matrix}$$

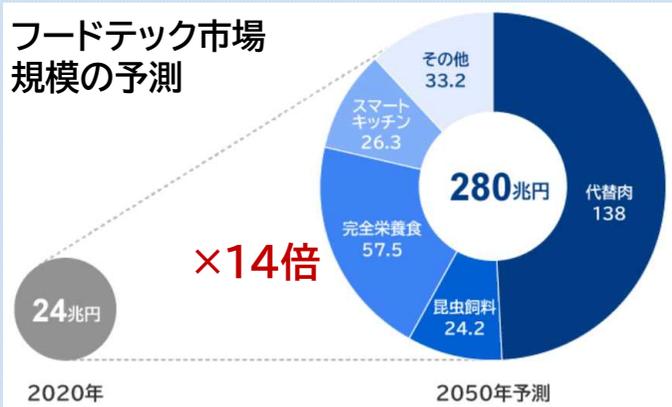
主たる物

食のアップサイクル、完全栄養食、防災食、代替肉、発酵食、ヴィーガン、パーソナライズドフーズ ほか

市場規模



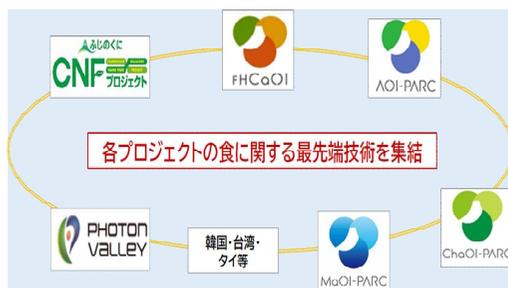
フードテック市場規模の予測



<出典> 三菱総合研究所 「R2フードテックの振興に係る調査委託事業」

連携

食と親和性の高い先端産業創出プロジェクトと連携して、フードテックを活用した食品開発を支援



ウェルネス産業

定義

身体的・精神的・社会的健康を基盤に、**より健康で輝かしい人生を志向する状態を支援する前向きなビジネス領域** (公的医療保険・介護保険は対象外)

主たる物

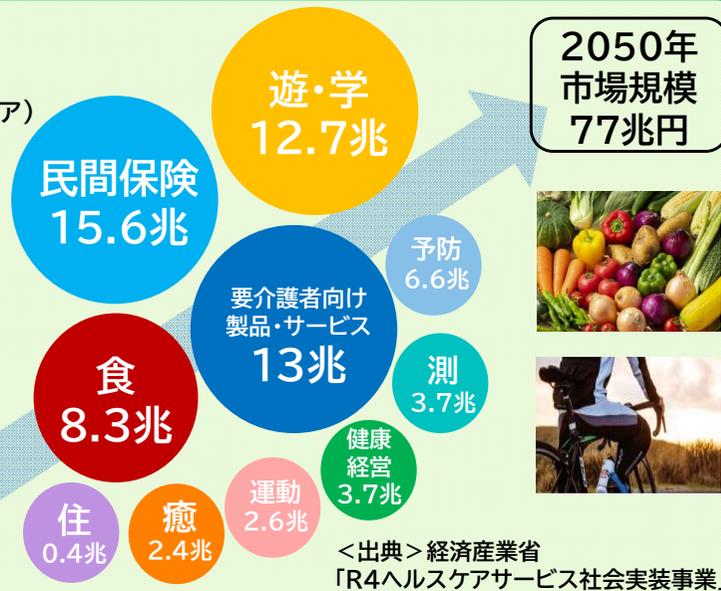
ウェルネスフード、ウェルネスツーリズム、予防医療、介護医療、フィットネス、ビューティ、リラクゼーション、睡眠、健康経営 ほか

市場規模

ウェルネス(ヘルスケア)市場規模の予測



2020年市場規模 24兆円



<出典> 経済産業省 「R4ヘルスケアサービス社会実装事業」

連携

各部局との連携により事業化を推進

領域	主担当部局
ウェルネスフード、予防医療、介護医療、ビューティー、リラクゼーション、睡眠、健康経営、フィットネス、ウェルネスツーリズム 等	経済産業部 健康福祉部 スポーツ・文化観光部